

制度2. 空き家解体助成金

～空き家解体助成金とは～

高崎市では、周囲に危険を及ぼす恐れのある老朽化した空き家を解体する場合に、解体費用の一部を**予算の範囲内**で助成します。

助成を受けられる空き家等 ※右記要件をすべて満たすこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 高崎市内に存し、住居として建築した建築物（原則、居室の他に風呂、トイレ、台所が当該建築物内に配備されていること、または敷地内に附属されていること）で、生活の拠点として居住していた経緯と、おおむね10年以上居住その他の使用がなされていないことを確認でき、周囲への危険や悪影響がある、または、その恐れがある空き家等で、次のいずれかに該当するもの <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸建て住宅の空き家（共同住宅等を除く） ・ 併用住宅の空き家（店舗等が廃業されていること） ● 空き家等に抵当権等が設定されていないこと（設定されている場合は、抵当権等を抹消していただくか、債権者の承諾書が必要） <p>※倉庫、物置等のみ解体する場合は対象になりません</p>
助成を受けられる人 （申請者）	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家の所有者（個人）またはその法定相続人（個人） <p>※法人名義の物件は対象となりません</p>
助成を受けられる主な要件 ※右記要件をすべて満たすこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 助成対象となる空き家等の全部を解体、撤去し、更地にすること ● 高崎市内の業者（見積書及び領収書の住所を高崎市で表記できること）（申請者の親族が代表を務めるものを除く）が解体工事を行うこと ● 市税の滞納がないこと <p>※本助成金の交付を受けた者は、本年度中及び次年度以降に再度本助成金の交付を受けることができません</p> <p>※本助成金の交付対象空き家の同一敷地内に別の空き家があり、その所有者が異なる場合も、同様に再度本助成金の交付を受けることができません</p> <p>※他の助成金や移転補償費の対象となる場合は助成の対象となりません</p>
申請から支払いまでの要件 ※右記要件をすべて満たすこと	<p>申請 → 審査（1～2ヶ月） → 交付決定 → 工事着工 → 工事完了 → 工事代金の支払い → 完了報告（2月末まで） → 助成金の支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本助成金の交付決定後に着手する工事であること（工事着手済みであったり、完了している場合は申請できません） ● 原則、2月末までに解体工事を完了し、市に完了報告を提出できること <p>※本助成金の支払いは完了報告後のため、一時的に申請者が工事代金を全額負担することになります（本助成金の事前支払いは不可）</p>

<p>注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「申請者」、「見積書の宛て名」、「領収書の宛て名」、「助成金振込み先の口座」はすべて同一人物の名義である必要があります ● 空き家解体後、多くの場合翌年の土地に係る固定資産税及び都市計画税が増額となります ※詳細は資産税課へ ● 同一敷地内に複数の居住用家屋が所在する場合、空き家化の経緯報告書の内容を証明する書類として、ガス・電気・水道の廃止等が確認できるものが必要となり、居住その他の使用がなされていないことが確認できない場合は、助成の対象となりません ● 不動産登記されておらず、市の固定資産税台帳にも登録がない家屋は助成の対象となりません ● 現地を調査する際に職員が敷地内に立ち入る場合があります ● 解体工事にあたってはアスベスト調査等の各種法令を遵守して行ってください
<p>助成金額</p>	<p>助成対象経費に5分の4を乗じて得た額、上限額は100万円 ※交付決定後の増額はできません</p>

○申し込み時に必要な書類

		書類名	条件等
申請者全員 必要な書類	<input type="checkbox"/>	申請書 ※様式あり	
	<input type="checkbox"/>	解体前空き家等の外観写真	建物全体が写るように撮影
	<input type="checkbox"/>	施工業者からの見積書	工事の内訳明細が確認でき、業者の住所表記が高崎市内であり、見積書の宛て名が申請者となっていること
	<input type="checkbox"/>	空き家化の経緯報告書 ※様式あり	
	<input type="checkbox"/>	最新の建物登記全部事項証明書（登記簿謄本）	未登記家屋の場合は固定資産税・都市計画税納税通知書の写し等
該当する場合のみ必要な書類	<input type="checkbox"/>	空き家化の経緯報告書の内容を証明する書類	住民票等から空き家であったことを確認することが出来ない場合（施設等の入所日がわかるものなど）
	<input type="checkbox"/>	戸籍謄本等	建物所有者が死亡しており、その法定相続人等が申請をする場合
	<input type="checkbox"/>	同意書 ※様式あり	建物所有者と土地所有者が異なる場合
	<input type="checkbox"/>	確約書（共有） ※様式あり	建物所有者及び土地所有者に共有持分者がいる場合
	<input type="checkbox"/>	確約書（相続） ※様式あり	建物所有者及び土地所有者が死亡しているが未相続の場合
	<input type="checkbox"/>	委任状	申請手続きを代理人が行う場合

○工事が終わったら必要な書類

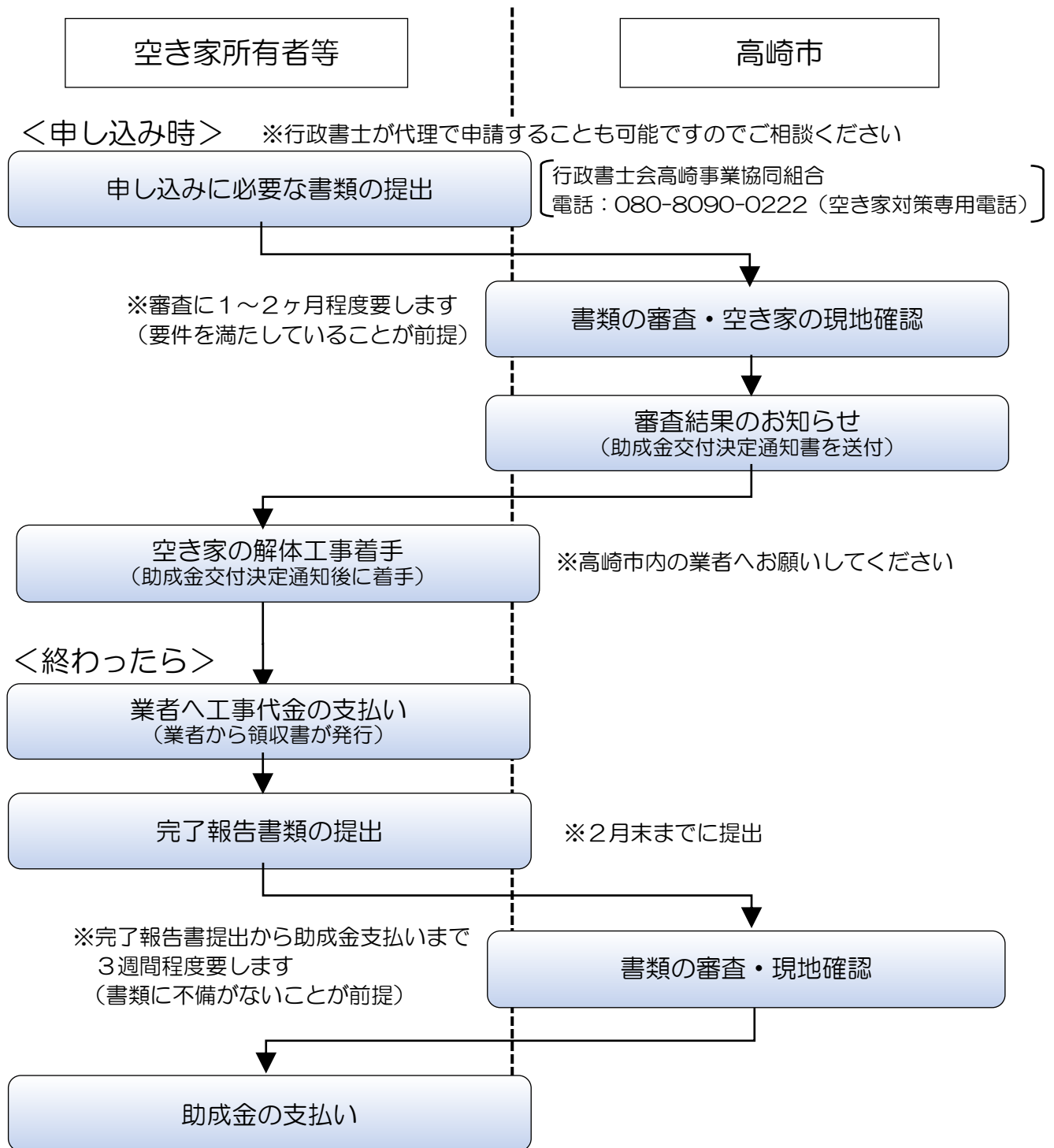
		書類名	条件等
申請者全員 必要な書類	<input type="checkbox"/>	完了報告書 ※様式あり	交付決定通知書と同時に申請者へ送付します
	<input type="checkbox"/>	工事請負契約書の写し	作成していない場合は不要
	<input type="checkbox"/>	工事完了写真	解体前と同じ位置から撮影
	<input type="checkbox"/>	領収書の写し	業者の住所表記が高崎市内であり、領収書の宛て名が申請者となっていること
	<input type="checkbox"/>	請求書 ※様式あり	交付決定通知書と同時に申請者へ送付します
	<input type="checkbox"/>	通帳の写し	申請者名義の通帳

○お願い

必要に応じて、上記以外の書類を提出していただく場合がありますのでご了承ください

高 崎 市

～ 制度 2. 空き家解体助成金 手続きの流れ ～



お問合せ先、受付窓口

〒370-8501 群馬県高崎市高松町 35 番地 1 建築住宅課 (9F)

電話：027-321-1314 FAX：027-328-8990

メールアドレス：kenchiku-juutaku@city.takasaki.gunma.jp

業務時間 平日 AM8 時 30 分～PM5 時 15 分